

2023(令和5)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ
〈語学・大学留学コース〉8月レポート
“ここから”

2023(令和5)年度奨学生 河原塚 咲

みなさま、はじめまして。今年度、埼玉県と姉妹友好の関係にあるアメリカ・オハイオ州へ、縁あって派遣されることになりました、河原塚咲(カワハラツカサキ)と申します。

埼玉県代表として、学び、成長できる機会を設けてくださったことに感謝するとともに、身が引き締まる思いです。2学期間、精一杯努めさせていただきます。改めて、埼玉県庁の方々、応援してくれる家族、友人、大学の先生方にお礼申し上げます。

毎月のレポートでは、日々の生活やイベント、留学しているフィンドレー大学について、自分の言葉でお伝えできればと思います。

CONTENTS

1. フィンドレー大学と新入生オリエンテーション
2. 日々の生活
3. 履修登録
4. 助けてくれた人のこと

1. フィンドレー大学と新入生オリエンテーション

フィンドレー大学は、1882年創設のアメリカ・オハイオ州にある私立大学です。フィンドレーはオハイオ州の北西部に位置し、日本・羽田空港から直行便が出ているデトロイト空港(DTW)からは、1時間半～2時間の距離にあります。ちなみに、オハイオ州には“Buckeye(バッカイ) state”という愛称があるということを授業で学びました。Buckeyeとは、「トチノキ」のことで、オハイオ州に古くから自生し、州木でもあるそうです。

また、到着した次の日からおよそ1週間、怒涛のオリエンテーション期間がありました。この期間内に、学内に



ある施設の説明を受けたり、イベントに参加したりと、かなり忙しい時間を過ごしました。特に印象的だったのがピクニックで、キャンパスの道に椅子と机が並べられ、それぞれが食事やおしゃべりを楽しんでいました。この日は朝から天気が良く、開放的な気分イベントを楽しむことができました。

ピクニックの様子です
キャンパス内でピクニックをする光景ははじめて見たため、印象に残りました

2. 日々の生活

現在私は、キャンパス内でシェアハウスをしています。私を含む日本人3人と、計5人で生活しています。洗濯機が1度取り替えられ、1度修理されるというハプニングもありましたが、シェアハウスでの生活はおおむね快適です。顔を合わせる機会が少ないように思うので、これから積極的に話しかけ、仲を深めたいと思います。

また、学生は Meal Plan に申し込むことで、学内の食堂を利用することができます。Meal Plan はいくつかあり、今学期、私は1週間で7食のプランにし、残りは自炊しようと考えていました。しかし、授業開始1週間で既にこの選択を後悔しています。なぜなら、食事がとてもおいしいからです。食事に関して、今のところ全く心配はありませんが、口に合わなかった、味に飽きてしまった、という日本人留学生の声も耳にします。



好きな具材を、店員さんがつめてくれます
毎日食べたい！



こちらは、ビュッフェ形式の食堂
ハンバーガーばかり食べています

3. 履修登録

オリエンテーション時に、学部ごとに履修登録を行いました。私は、学部生ではなく IELP という英語を勉強するコースで入学したため、到着してから2日後に行われたテストの結果に基づき、既に履修が組まれた状態でした。ただ、IELP の学生も希望すれば音楽や芸術の授業をとることができます。

フィンドレー大学では、Workday というシステムを使って履修登録を行うのですが、うまくいかず、結局書類をオフィスに持っていきました。私は英語の他にも日本語や音楽の授業をとったのですが、これらは紙で提出しました(授業については次回以降のレポートをお楽しみに！)。

4. 助けてくれた人のこと

プログラムの趣旨とは離れてしまいましたが、助けられた経験を共有したいと思います。

大学到着から数日後、Walmart(スーパーマーケット)から大量の荷物を運びながら大学の敷地内を歩いていた時に、ある男性の方が声をかけてくださいました。彼はフィンドレー大学の教授であると自身を紹介し、親切にも、私の買い物袋を一緒に持ってください、車で私を家まで送り、何か困ったことがあればと連絡先と住所が書いた紙まで渡してくれました。彼の優しさに胸をうたれ、同時に家までの道のりさえうまく英語で表現できないもどかしさ、悔しさを感じた出来事でした。この経験を自分の中で消化し、次につなげていきたいです。

8月レポートはいかがでしたでしょうか？来月またお会いしましょう！

昨年度の奨学生である宮原さんには、このプログラムの応募前からアメリカ渡航後にも、有益なアドバイスをいただきました。感謝申し上げます。また、これまでの諸先輩方に倣いまして、私も次のような場を設けたいと思います。

本プログラムについて、応募に際した疑問点、生活について聞いてみたいことがございましたら、kawaharazukas@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。また、レポートの感想もお待ちしています。

私の経験が、みなさまの一助になればと思います。